

極楽寺だより

長門市三隅下
野波瀬
0837(43)0625

御正忌報恩講のご案内

如来さまの大慈悲をあきらかにして、
私たちに浄土往生の道を示して下さいさつ

たご開山親鸞聖人の九十年のご苦勞とご

恩徳を讃え、仏恩報謝の心をよせあって、

大切につとめさせていただく報恩講。

浄土真宗では、もつとも大事なご法要で

す。お誘いあわせお参り下さい。

一月十四日(水) 昼一時半 夜七時

十五日(木) 昼一時半 夜七時

夜十一時

十六日(金) 昼一時半

(十六日は親鸞聖人のご命日。特に大切に勤めます。)

報恩講お斎のご案内

次の通り、お斎のご案内を申し上げます。

| | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|-----------------|------------------|
| 十五日 | 十四日 | 昼 | 夜 |
| 向山・久原・土手 中村・大竹・市・湯免 下中小野・辻並 | 豊原・平野・浅田・沢江 上ゲ・殿村・上東方 下東方・小島・町外 | 野波瀬東側 (一〜四班) | 野波瀬西側 (五〜十三班) |

- ※ 十六日は、お斎はありません。
- ※ 都合の悪い方は、割り当て以外の日にお参りされても構いません。

お斎の受付のおねがい

野波瀬の世話人の方は、毎年のように担当区域のお斎の日のお世話をお願いします。

年回忌表

2009年(平成二十一年)
昭和84年に当たります。

| | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|---------|---------|----------|----------|----------|
| 100回忌 | 50回忌 | 33回忌 | 25回忌 | 17回忌 | 13回忌 | 7回忌 | 3回忌 | 1周忌 |
| 明治43年 往生 | 昭和35年 往生 | 昭和52年 往生 | 昭和60年 往生 | 平成5年 往生 | 平成9年 往生 | 平成15年 往生 | 平成19年 往生 | 平成20年 往生 |
| 1910年 | 1960年 | 1977年 | 1985年 | 1993年 | 1997年 | 2003年 | 2007年 | 2008年 |

御正忌報恩講つて？

親鸞聖人の亡くなられた日をご縁として開かれる法要です。親鸞聖人は七五〇年も前に亡くなられましたが、聖人がその一生をかけて明らかにされたお念仏の教えは、それを生きる力、よりどころとした、たくさんの念仏者を生み育ててきました。私たちの先輩方は、この御正忌という法要を一番大切にされ、人生における本当に尊いことを聴聞されました。門徒みんながこの御正忌にお参りすることが、慣わしでもあったのです。

十五日には、夜の座の後に午後十一時の通夜法座もあります(平成六年までは、十六日朝五時のお朝事まで、徹夜でお番をするお通夜を、極楽寺でも勤めていました。)十六日の御命日は、特に大切にお勤めいたします。十六日には、毎年記念写真を撮ります。



今年の十六日御命日にお参りされた皆さん

お寺のお世話をして下さる、総代・世話人の皆さんです。

| | | | |
|--------|-------------|-------------|-------------|
| 総代長 | 宮崎茂之さん(野波瀬) | | |
| 副総代長 | 藤田平二さん(仙崎) | 総代 | 岡本長一さん(豊原) |
| 総代 | 小林明さん(豊原) | 総代 | 松野行利さん(野波瀬) |
| 会計 | 木村慎治さん(野波瀬) | 監査 | 野村昭一さん(上東方) |
| 野波瀬西側 | 斉藤達男さん | 市・湯免 | 名和田栄さん |
| | 綿野節男さん | 土手・中村・大竹 | 竹林啓助さん |
| | 宮崎忠彦さん | 久原 | 藤村勇次さん |
| | 黒瀬彰己さん | 向山 | 木村重彦さん |
| | 高野芳雄さん | 上東方 | 西村一夫さん |
| | 角村信忠さん | 下東方・小島 | 小林昭さん |
| 野波瀬東側 | 河村康昭さん | 豊原 | 岡村栄一さん |
| | 鼻野直行さん | | 重岡幸作さん |
| | 中谷政雄さん | | 宮本智さん |
| | 田村末夫さん | 平野 | 石村政一さん |
| | 上田治男さん | | 山中洋介さん |
| 辻並・中小野 | 上田耕作さん | 浅田・沢江・上ゲ・殿村 | 磯昭正さん |

長い間、有り難うございました。

- ◆ 綿野良介さん(17年間在任) 20年8月より後任宮崎忠彦さん。
- ◆ 山本寛さん(9年間在任) 20年8月より後任木村重彦さん。

あなたもグー 若住職

今年は、エドはるみの「あなたもグー、私もグー」というギャグが流行りましたね。三歳の娘も、TVにエドはるみが出ると、踊りながら叫んでいきます。考えてみると、結構良い言葉ですね。人の悪い部分というのは、よく見えますし、いくらでも指摘できます。勿論それは、すごく大切なことです。指摘できか気づけないものも、たくさんあります。(指摘し合わずに、流されてしまうこととで取り返しのつかないことになってしまうことは、年金問題や偽装問題からも教えられます。)ただ近頃は、指摘がそのまま、相手を見下すような悪口になっている場合も多く見受けられます。やはり指摘とは、お互いが信頼や敬意を持たなければ、成り立ちにくいのかもしれません。

「あなたもグー、私もグー」とは、お互いに讃え合う言葉です。これって、素敵ではありませんか。人の良い部分に気づくのは、難しいことです。でも、お互いに讃え合うことができたなら、もっとこの世の中が豊かになるのではないでしょう。誰にも負けることができる人は、天下無敵だ」という言葉があります。無敵というのは、誰にも負けない力を持っているということではありません。現に、アメリカは世界で一番の軍事力を誇りますが、世界中敵だらけ。逆に、誰からも良いところ、学ぶべきところを見出し、頭を下げることができる人は、敵がいらない、いや敵ができないという意味の言葉です。そういう素晴らしさを見出す心の眼を育てて下さるのが、仏法なのです。だからといって、大切なことを指摘してくれる人を鬱陶しく思うことはいけません。迷っている私の姿に気づく心の眼を育てて下さるのも、仏法なのですから。

秀



極楽寺 今年のご法座

◆ 一月一日 朝十時(毎年) 元旦会

◆ 一月十四日～十六日(毎年) 御正忌報恩講

◆ 四月一日～二日 春の永代経法要
講師 秋芳町 明巖寺住職 中島昭念 師

◇ 五月四～五日

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要
第二十三代住職継職法要
講師 福岡 西教寺住職 森 哲人 師

◆ 五月二十一日(毎年) 清光仏教婦人会の降誕会

◆ 六月二十六日～二十七日 夏法座
講師 福岡 光伝寺住職 木村大信 師

◆ 八月十四日～十六日(毎年) 盆法会

◆ 九月二十三日(毎年) 納骨堂追悼法要

◆ 十一月十六～十七日 秋の永代経法要

講師 広島 正覚寺住職 清胤弘英 師

◆ 十二月十八日(毎年) 清光仏教婦人会の報恩講

◆ 十二月三十一日(毎年) 除夜の鐘つき 初礼拝

御礼

おかげさまで、本堂の畳の新調・表替え（合計七十六枚）が十月末に済み、予定の記念事業はすべて終了しました。本当に、有り難うございました。

えっ？おばあちゃんが、お稚児さん？

前回の極楽寺だよりでご案内しましたとおり、来年の継職法要では、稚児行列をいたします。先日、その稚児衣装の業者さんと打ち合わせをしたところ、熊本のあるお寺の稚児の写真を見せていただいてビックリ！なんとおばあさんが稚児衣装を着ておられるのです。子どもの頃は、着たくても着れるような時代ではなかった方々の「ぜひ、着てみたい」という思いを実現したとのこと。本当にうれしそうなお顔が印象に残りました。極楽寺でも、希望者があればお受けしたいと思います。男性の方には、袴かまども用意できるとのこと。皆さんと共に、華やかでにぎやかな法要ができたらと思っています。



極楽寺第二三世住職継職法要 親鸞聖人七五〇回大遠法要

二〇〇九(平成二十一年)年五月四日(月)・五日(日)
※稚児の募集など、詳細は後日連絡します。

除夜の鐘つきのご案内

毎年、極楽寺では、おでんを用意して、大晦日に除夜の鐘つきを致します。

熱々のおでんをほおばりながら、新しい年が明けるのを共に味わいましょう。懐かしい人と再会できるかもしれませんよ。

打ち始め十一時五十分より。終了後、初参拝のお勤めを

つきはじめ
11時50分



年越しは、極楽寺で

元旦会 1月1日 10時から

時間は約三十分。家族全員でお参りされる家もあります。皆さんお参りまいいたしましょう。わが家のお仏壇ぶつだんも打敷うちしきをかけて飾り、新年を迎えまむかしょう。

